

長期研修ゼミナール 教科教育課長講話

「正確な自己認識と現状分析からすべてが始まる」

10月12日（水）に第2回長期研修ゼミナールを行いました。今回の講師は、教科教育課の川村始子課長です。「正確な自己認識と現状分析からすべてが始まる」の講話において、目指す児童生徒を描き、自己の指導法を見つめ直すことが始まりである



こと、児童生徒のためのものであること等、研究の在り方についての話がありました。

長期研修生からは「研究は、児童生徒のためになるものでなければならないということを再認識しました。児童生徒一人一人が授業の中で大切にされ、学ぶ喜びを感じられるような授業づくりを心がけていきたいと思います。そのためにも、教育研修センターでの今後の研究を頑張りたいと思います。」との声が聞かれました。

研究計画発表会（6か月長期研修生）を行いました

10月24日（月）に6か月長期研修生の研究計画発表会を行いました。

各指導主事から研修生に対し、研究の検証方法等について、様々な助言がありました。

長期研修生は、助言を基に、さらに課題を改善する計画をつくっていくこととなります。

